



no.154 | 2010年(平成22年)
12月20日発行

あの路 木の花 / 五日市街道を彩る樹々

みどり探訪 / 阿佐谷北の屋敷林

緑の歳時記 / トキワツユクサ

落ち葉感謝祭2010

みどりの窓 / 「みどりのベルトづくり」レポート

園芸ワンポイント / スノードロップ

あみちの路に木はなの花

五日市街道を彩る樹々

善福寺川に架かる五日市街道の尾崎橋から、高井戸方面に歩いてみましょう。街路樹として植えられているモミジバフウが、みごとな紅葉をみせてくれます。歩き出してすぐ右手の高台にあるのが、白龍山宝昌寺。由緒あるお寺で、手入れされた植栽の間に庚申塔やお地蔵様などが何基も置かれています。

しばらく行くと、街道の拡幅工事の折、住民の願いにより守られた12本のケヤキをはじめ、シラカシ、イロハモミジなどの大木が並んでいます。

関東バス五日市街道営業所前の小路に入ると、住宅街のサザンカやツバキなどの庭木、都立豊多摩高校のキンモクセイの生け垣などを、楽しむことができます。短いコースですが、街道の面影やおしゃれな家並と、新しい発見がいっぱいです。



みどり探訪

阿佐谷北の屋敷林

JR阿佐ヶ谷駅から10分ほど、馬橋公園に向かう住宅街を抜けると、林に行き当たります。植樹された木といつの間にか育ったらしい木の緑に、モチノキの赤い実とツルドクダミの粒状の白い花が映えていました。

屋敷の門へは、木立の中ほどの砂利の小道を、手作りの四つ目垣に沿って進みます。ケヤキの大木に寄り添うイロハモミジ、サクラの古木、カキノキ、シラカシなどの高木が目に入ります。2本のモッコクの根元回りをセンリョウ、マンリョウ、ヤブコウジ、タラヨウ、お気に入りの鉢が並び、穏やかな雰囲気を感じさせています。また生き物が数多く訪れ、狸も見られるそうです。

自然の状態を維持するご一家の意向が、この屋敷林を魅力的にしています。「みんな、写真を撮ってもらってよかったね！」と庭に向かって手を合わせるお母様の姿が心に残りました。



▲別世界に迷いこんだような趣のある小道



▲立派な造りの門



※個人宅につき邸内には立ち入れませんが、外からは観賞できます。

緑の歳時記 区内でよく見かける帰化植物

トキワツユクサ (常磐露草)

ツユクサ科 / 南アメリカ原産の常緑多年草

観 葉植物として各国で栽培され、別名をノハカタカラクサともいいます。全体にほぼ無毛でやや多肉質です。茎は分岐して地を這い、節から根を出して広がり、長さ1m以上にもなります。葉は先のとがった卵形の全縁(*1)です。基部は1cmほどの葉鞘(*2)となります。花は直径約1cmの白色の3弁で茎の頂に数個ずつ付きます。

日本では昭和の初期に白斑の入った園芸品種が観賞用として入り、野生化して斑が消失したものです。冬でも青々としているので、花のない季節にはグランドカバーとして利用できるかもしれません。



*1 全縁(ぜんえん)・・・葉の縁がなめらかで、ギザギザがないこと。

*2 葉鞘(ようしょう)・・・葉の基部が鞘状になって茎を巻いていること。

落ち葉感謝祭 2010

参加しよう! 1万人の落ち葉掃き

田んぼの人々やボランティアの協力のもと、「落ち葉感謝祭2010」を12月4日に開催しました。私たちに様々な恩恵を与えてくれる樹木に感謝を込めて、また落ち葉を「ゴミ」にしないで自然の物質循環へ戻していこうという『みどりのリサイクル』の考え方を広めるために始められたイベントで、今年で5回目を迎えました。

朝9時、中杉通りや井草森公園をはじめ、各会場に集合した参加者が「落ち葉感謝祭」というのぼり旗を掲げていっせいに落ち葉

掃きを行いました。中杉会場では、70リットルの収集袋約100袋分の落ち葉が集まりました。その落ち葉達は阿佐谷けやき公園にある落ち葉ボックスに入り、やがて腐葉土に生まれ変わります。

また井草森公園では恒例の落ち葉プールが登場。ふかふかの落ち葉に飛び込んで楽しそうにはしゃいでいる、子ども達の姿が見られました。参加・協力いただいた方々に、そして樹木に感謝です。



みどりの窓

「みどりのベルトづくり」レポート



「みどりのベルトづくり」(→メモ)は、平成21年11月に第1号を皮切りに、現在までに計10件の民有地での緑化を行いました。参加者からは「自分達の手でスムーズに作業できた」「専門家の話を聞いてよかった」「これからも継続して欲しい」という声が聞かれました。これからもどんどんみどりのベルトを広めていきます!

メモ みどりのベルトづくりって?

自分のみどりとお隣のみどりをつないで、まちのみどりを広げていく取り組みです。平成21年4月に高円寺南二・四丁目と三丁目の一部をモデル地区に指定し、2商店会と協定を結んで事業を進めています。協定を結んだ商店会には緑化資材の一部を提供し、道路沿道の緑化をお手伝いします。

上: 専門家のアドバイスのもと、まちの方自身が作業します
下左: 最小のものは奥行き 30cm、植物はマユミが中心です
下右: 緑化が難しい場所でも、工夫すれば緑化できます



みどりに関する相談は
塚山公園みどりの相談所
 ☎03-3302-9387
 杉並区下高井戸5-23-12
 毎週土・日曜日 午前9時～午後4時30分
 休所日: 年末年始(12/29～1/3)



スノードロップ (ヒガンバナ科)

●球根

形はスイセンに似て小さく、直径1.5～2cm位で、黒色の薄い外皮で覆われている。

●植え付け

9～10月の間、土は粘質土よりも水はけがよいように腐葉土に赤玉土・桐生砂などを等量混合した用土がよい。鉢は浅鉢でよく、小石などをあしらって、やや密に植える。深さは4cm位で。路地植えは多少深めに植えると、後の灌水が少なくて楽である。

●花

一茎に一花を頂生する。花は下垂して開き、外弁3枚が大きく、純白で長楕円形。内弁の3枚は小さくて、先端はへこみ、白色の地に緑斑が入って美しい。

●肥料

花が終わったら液肥を1～2回与え、秋に固形の油粕を株間に施す。

●殖やし方

他の秋植え球根と同じように、晩春、葉が黄変して休眠状態になったとき、球根を掘り上げ、鱗茎を分ける。その

原産地はトルコ～コーカサス地方。秋植え耐寒性の早咲き球根。2～3月頃、花茎の頂に一輪ずつ雪白色の花を付け、下向きに咲く。英名のスノードロップで知られている「雪の雫」の名前のとおり、清らかでおとぎの国から来た早春の天使のような花。別名・和名はマツユキソウ(待雪草)。



後、乾燥させないように湿ったパーミキュライトの中に入れて、冷暗所に保存する。分球は3～4年に一回程度行うとよい。

●栽培ポイント

乾燥を嫌う。特に冬期の乾燥に注意したい。時には水やりを行うか、マルチングなどするとよい。鉢の置き場所は、春は十分に日が当たる場所に、初夏からは日陰になるような落葉樹の木陰などの涼しい場所に、鉢のまま埋めて夏を越させる。※病害虫はほとんど心配はない。

年間管理表

作業	月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
置き場所(鉢植え)		日当たりのよい所			直射日光当たらない半日陰								
開花時期		花茎に一輪											
球根掘上げ					分球、植え替え(3～4年に1回)								
植付時期					秋植球根と同時期								
肥料					開花後のうすい液肥 固形肥料の置肥(芽が出るまで)								
水やり					葉が枯れた後(鉢植え)								



「みどりの基金キャンペーン」を開催しました!

去る10月15日、区役所西棟玄関前広場で『みどりの基金キャンペーン』を、区内造園業者の協力により開催しました。当日は『阿佐谷ジャズストリート2010』のプレライブも行われ、キャンペーンを盛り上げていただきました。平日にもかかわらず延べ800名の方にご来場いただき、総額30,271円の寄附金が集まりました。ありがとうございました。



編集後記 「みどりとひと」はみどりのボランティアと協働で編集しています。

- このところなぜか「返り咲き」があちこちで目に。今年は夏～秋～冬の移り変わりが迷走したので、植物も戸惑っているのかも。(羽)
- 取材先で、えびす講や十三夜のお月見という行事を見せていただきました。ゆったりとした空気感が素敵でした。(朋)
- え?ここが阿佐谷!?と目を疑うほどのすばらしい屋敷林の取材をしました。ぜひ、皆様にもこのみどりの感動を!(原)
- カエデとモミジパフウの違いがわかり、散歩も一味違ったものに。「楓」はかえで、ふうとも読めます。(佐)
- 普通の家庭で行われることが少なくなりつつある日本の伝統行事を次世代に遺し、伝えていくことの大切さを取材先で教えられました。(中)
- 樹や草花の緑に癒され、人との出会いに喜びがあります。あちこちと目を配って出かける場所を探しています。(大)
- 馬橋公園に行くたびにとても気になっていた、みどり豊かなお屋敷がみどり探訪に取り上げられ、とても嬉しく思います。(山)
- 屋敷の門へ至る道は、森の小路を思わせる自然を愛する家人の気持ちを感じました。(石)
- 早速、スノードロップの球根を植えてみました。はじめてのことで、楽しみにしているところです。(宮)



みどりの新聞 みどりとひと154号 平成22年12月20日発行

編集/みどりのボランティア
 編集・発行/杉並区都市整備部みどり公園課 〒166-8570 杉並区阿佐谷南1-15-1 ☎03-3312-2111
 「みどりとひと」は区ホームページでもご覧いただけます。http://www.city.suginami.tokyo.jp/

